



文化財関係研修の実施

中近世城郭調査課程

2002年9月26日～10月3日実施の同課程は、北は秋田、南は鹿児島から総数21名の研修生が受講しました。実質僅か5日間の研修ですが、城郭の発掘から整備にいたる総合的な研究の現状と城郭調査の方法論の理解を目指し、少し欲張って諸分野の先生方15人を講師にお招きしました。また今回、城郭の発掘調査の実際を理解して貰うために、各地の城郭の発掘調査ケーススタディと城郭付属遺構調査方法論を重視したカリキュラムを組みました。

研修生の反応は概ね好評でしたが、彼らの多くは考古学専攻で、専門以外の分野からの城郭研究、特に文献史学に関する講義に関心が非常に高く好評であった一方、各地の個々のケーススタディよりも基本的な城郭の考古学的発掘調査方法論(マニュアル)や実際の城郭遺跡での臨地講義を望む声が多くありました。研修期間、講義構成など反省すべき点多々ありますが、今後の研修に生かしたいと思っています。

(埋蔵文化財センター 巽淳一郎)